

# 日本キャンドル協会 (JCA) 認定 キャンドルインストラクター

**主催団体** 一般社団法人 日本キャンドル協会 (JCA)  
**受験資格** JCA認定校における講座修了  
**目安となる取得期間** 2ヵ月

ニュース  
&  
TOPICS

キャンドルのあたたかな灯は人の心を落ちつかせるといわれ、癒しに、またはインテリアとして、人気を集めている。「エコな照明」でもあるキャンドルは、震災を機に再び注目され、キャンドルを楽しむ人だけでなく自分で作りたいという人も増えている。JCA認定校の受講者数も2011年250人が2012年は800人と1年で3倍増。インストラクター不足といえる。

**どう学ぶ?** JCA認定校での講座受講で知識と実技を身につける

JCA認定キャンドルアーティスト資格認定後、インストラクターコースを受講。最後の実技試験を通してキャンドルスクールを運営する上で必要不可欠な知識、ノウハウ、レシピ制作スキルまでのすべての習得を認められると合格となる。

**どう稼ぐ?** JCA認定校の講師や教室を開いて活躍できる

有田さんのように教室を開き、承認を受ければJCA認定校としてJCA認定キャンドルクラフトコース、JCA認定キャンドルアーティストコースを開講できるほか、JCA直営校の講師としても働ける。イベントやカルチャースクールなどでも活躍できる。

## 「いつか転身できれば」と 楽しみながら取得した資格は 私にとって「稼げる資格」に! 習い事のはずが本業になりました

転身後、約半年で  
前職の年収分を  
稼げるほどに

有田さんがキャンドルスタジオオーナーOKAを開講させたのは、2013年3月。当時は契約社員の事務職として働いており、「ゆくゆくはキャンドルインストラクターとして生計を立てたいと思っていましたが、しばらくは二足のわらじで週3日程度レッスンを開くつもりでした」。

ところが、1ヵ月もしないうちに週3日では足りないほど生徒が集まったそう。東京・銀座というアクセスのいい立地もあり、生徒は首都圏はじめ、静岡県や長野県など遠方の人もある。「とても週3日ではこなせない数の生徒さんが集まり、3月末に勤めていた会社で退職の意を伝えました。そうです、1ヵ月もしないうちにキャン

有田香子さん(34歳)



12年取得。資格取得後、協会の支援を受けながら半年後に東京・銀座でキャンドルスタジオOKAを開講。http://candle-iokax.com/

取材・文/櫻井 忍 撮影/松村秀雄

ドルインストラクターで稼いでいけるメドが立ってしまっただけです」

開業して半年、休む間もないほど毎日レッスンの予約が入っている。「大好きなキャンドルの仕事に就け、収入もアップしました。私にとって、まさしく「稼げる資格」です」

大躍進を支えてくれた協会のバックアップ  
年数回の技術研修会も

有田さんの躍進には、協会のバック

クアップも大きい。キャンドルの基本レシピが提供されるほか、立地の客層を考慮したコンセプト設計やWEBでの集客、フリーペーパーやデータ

私はキャンドルを作っている時間が好き。火を灯したときの

キャンドルが大好き。その魅力をたくさんの人に伝えたいんです。



通常レッスンとは別に特別講座を開くと、瞬時に予約が埋まってしまうそう。キュートでパステルでカラフル——そんな有田さんの作風は多くの生徒から支持されている。

「個人でもブログを開設し、スタジオ開講までのエピソードを綴りました。『こんなキャンドルを作りたい』と思ってもらおうと、作品を写真で見せています」

さらに協会では、キャンドルインストラクターを対象に、マーケティング研修や年数回「技術研修会」を開催。新しいキャンドル製作のアイデアを、提供している。

「まもなく、初めて全コースを修了する生徒が出るんです。『もっとおケイコしたい』という声も多く、何をしようか悩んでいたのが、技術研修会は本当に助かります」